

2022年度（2023年3月期）

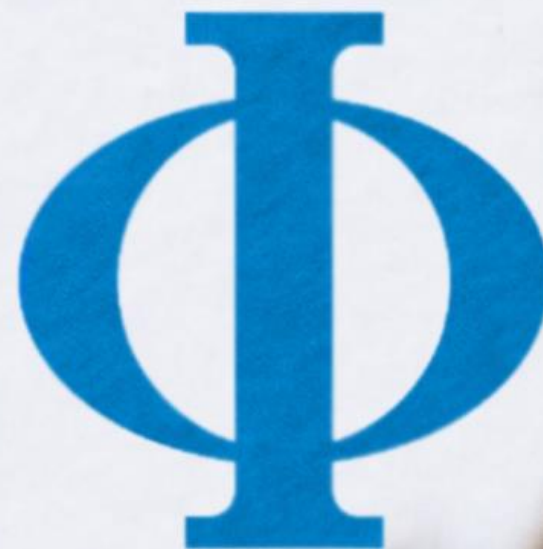
第2四半期決算説明会 連結

株式会社フコク(東証プライム:5185)

2022年11月17日

ゴムからはじまる 未来がひろがる

株式会社フコクは創業以来の「ものづくり」で培った
設計・試作・評価・量産のノウハウを集結させ
今までに無い価値を提案していきます



INDEX

1. 決算のポイント
2. 2023年3月期第2四半期実績
3. 2023年3月期通期業績予想
4. セグメント別・地域別の状況
5. 株主還元
6. プライム市場上場維持に向けて

1. 決算のポイント



1. 決算のポイント

2023年3月期第2四半期実績

売上高

円安の影響により円換算時の収益増によって **増収**

営業利益

新製品を投入したが当初見込んだ自動車メーカー各社の生産回復はせず操業度低下
さらに原材料費や輸送費、及び燃料費が大きく上昇
その影響を各種努力で賄いきれず **減益**

2023年3月期通期予想

半導体不足長期化に伴う自動車メーカー各社の生産調整や原材料価格と輸送費の上昇傾向は
しばらく続くと想定。生産工程の合理化や原材料価格の変動対応等の採算改善努力を継続する

売上高

770億円

営業利益

37億円 の公表値を据え置く

配当

中間配当

当初計画の25円から **27円へ増配**

期末配当

期末配当は当初計画25円を据え置きし、**通期で52円を計画**

2. 2023年3月期第2四半期実績



2. 2023年3月期第2四半期実績

業績概要（連結）

（単位：百万円）

	2022年 3月期	2023年 3月期	前年増減額	前年増減率
	第2四半期 実績	第2四半期 実績		
売上高	36,650	38,971	+2,321	6.3%
営業利益 (売上高対営業利益率)	1,820 (5.0%)	817 (2.1%)	-1,003 (-2.9pp)	-55.1%
経常利益 (売上高対経常利益率)	2,125 (5.8%)	1,811 (4.6%)	-314 (-1.2pp)	-14.8%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	1,611 (4.4%)	1,470 (3.8%)	-140 (-0.6pp)	-8.7%

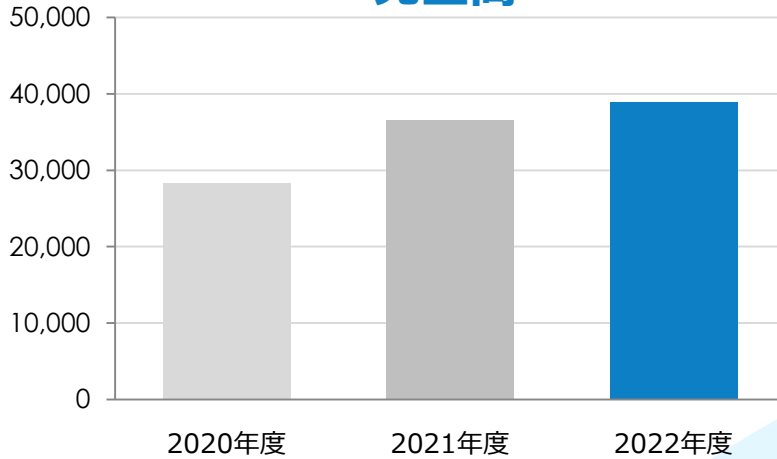
※pp=パーセンテージポイント

2. 2023年3月期第2四半期実績

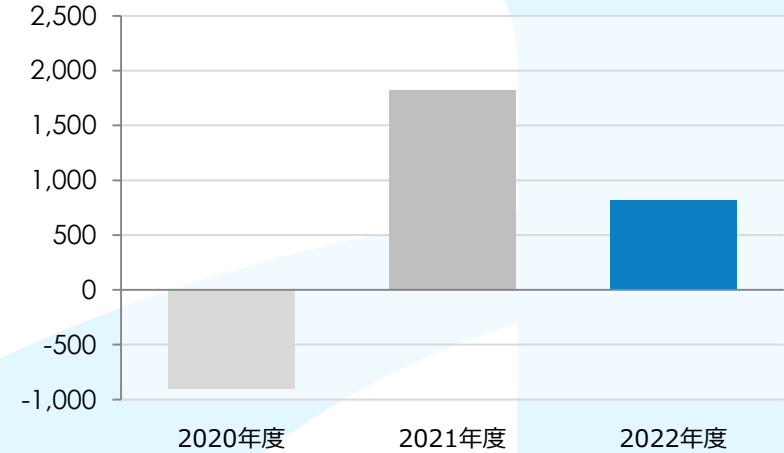
経営実績推移 (連結・半期)

(単位：百万円)

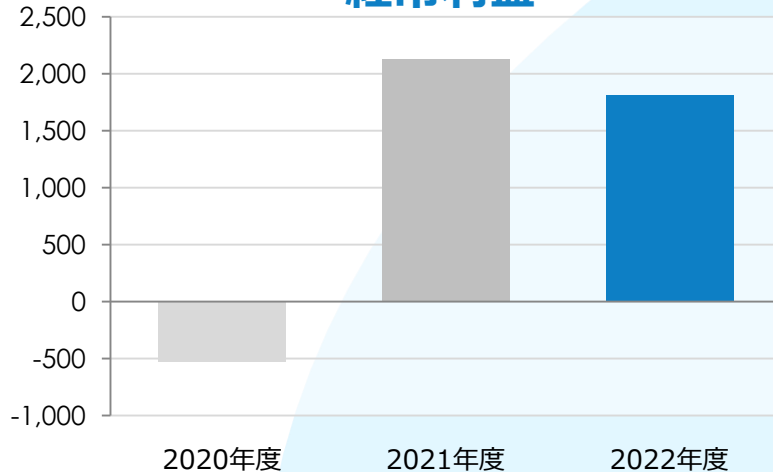
売上高



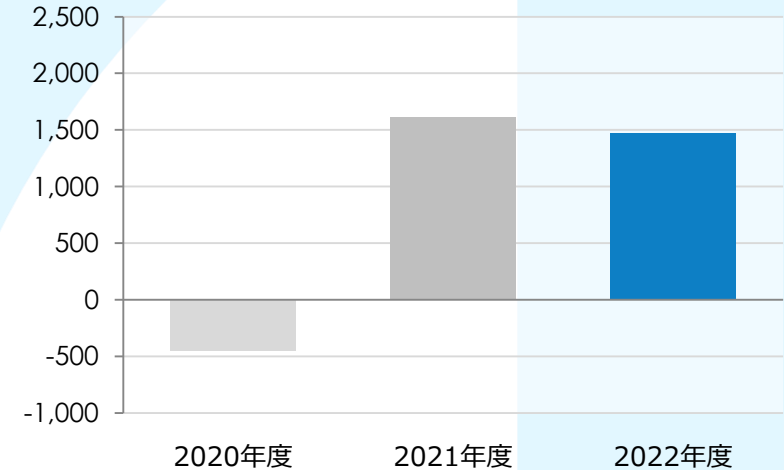
営業利益



経常利益



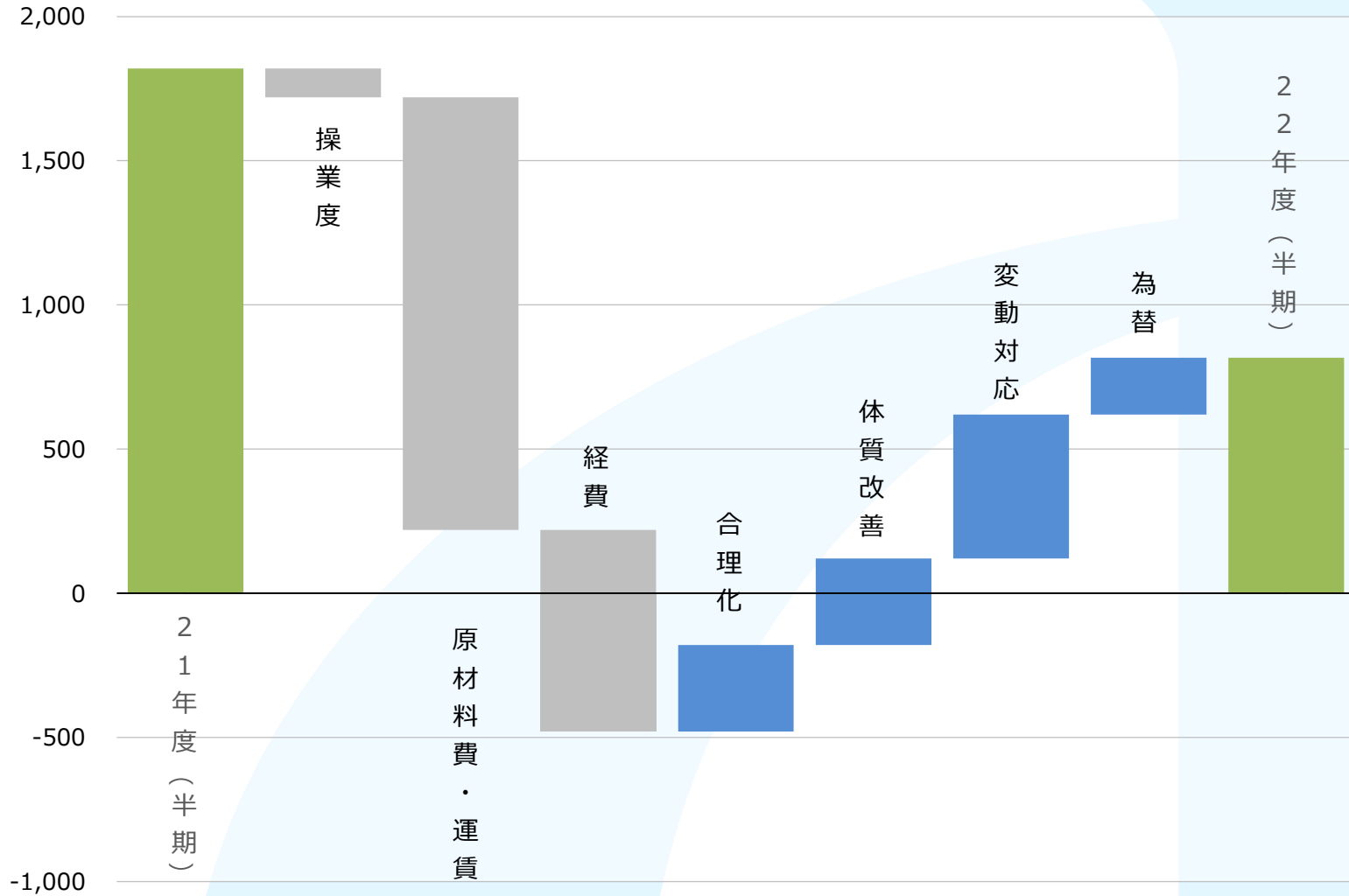
当期純利益



2. 2023年3月期第2四半期実績

差異要因 連結営業利益（前年比）

（単位：百万円）



2. 2023年3月期第2四半期実績

財政状態、キャッシュ・フロー概要（連結）

（単位：百万円）

	2022年3月末 実績	2022年9月末 実績	増減額
現金及び預金	9,301	10,429	1,128
受取債権	17,394	19,237	1,843
棚卸資産	9,605	11,030	1,425
その他流動資産	1,443	2,258	815
流動資産計	37,744	42,957	5,212
有形固定資産	24,753	26,581	1,827
その他固定資産	2,541	2,816	275
固定資産計	27,294	29,398	2,103
資産計	65,039	72,355	7,315
借入金	10,930	13,360	2,430
支払債務	9,926	11,076	1,149
その他流動固定負債	9,805	9,309	△ 495
負債計	30,662	33,746	3,084
株主資本計	31,106	32,267	1,161
非支配持分	2,152	2,399	246
その他	1,117	3,940	2,822
純資産計	34,377	38,608	4,231
負債・純資産計	65,039	72,355	7,315

- 海外子会社決算の為替換算の影響によりBS全体が増加
- 退職給付制度変更に伴う
拠出金支払や運転資金等の調達により借入金が増加

	2021年9月期 実績	2022年9月期 実績
税前利益	2,134	2,358
減価償却費	2,066	2,131
売上債権の増(△)減(+)	1,767	△ 629
棚卸資産の増(△)減(+)	△ 1,027	△ 599
仕入債務の増(+)-減(△)	△ 58	233
その他	△ 919	△ 2,482
営業活動によるCF	3,962	1,011
有形固定資産の取得	△ 1,301	△ 1,976
その他	△ 31	32
投資活動によるCF	△ 1,332	△ 1,943
借入れによる収入	49	2,915
借入金の返済による支出	△ 1,784	△ 1,144
その他	△ 464	△ 375
財務活動によるCF	△ 2,200	1,395
フリー・キャッシュ・フロー	2,629	△ 932

- 売上債権の増加及び退職給付制度変更に伴う支払によりフリー・キャッシュ・フローは減少
- 固定資産取得や運転資金調達により借入金が増加するが合理化等の実施でFCF改善に取り組む

3. 2023年3月期通期業績予想



3. 2023年3月期通期業績予想

業績予想（連結）

（単位：百万円）

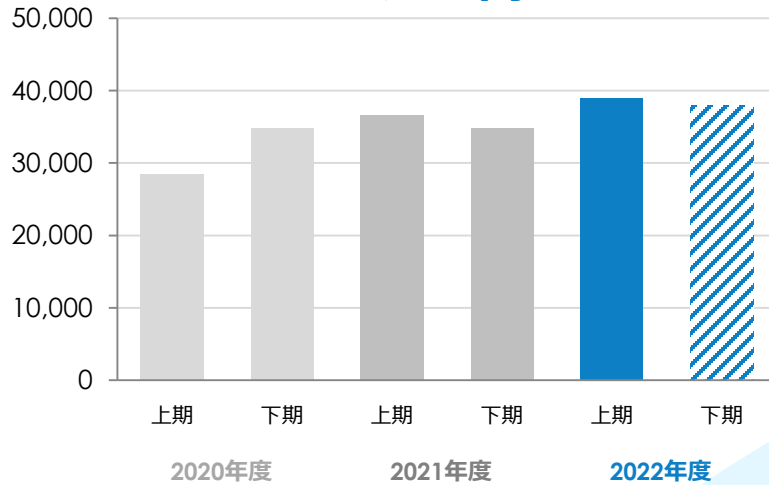
	2022年 3月期	2023年 3月期	前年増減額	前年増減率
	実績	予想		
売上高	71,504	77,000	+5,496	+7.7%
営業利益 (売上高対営業利益率)	1,749 (2.4%)	3,700 (4.8%)	+1,951 (+2.4pp)	+111.5%
経常利益 (売上高対経常利益率)	2,522 (3.5%)	3,800 (4.9%)	+1,278 (+1.4pp)	+50.6%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	2,084 (2.9%)	2,700 (3.5%)	+616 (+0.6pp)	+29.5%

※pp=パーセンテージポイント

3. 2023年3月期通期業績予想

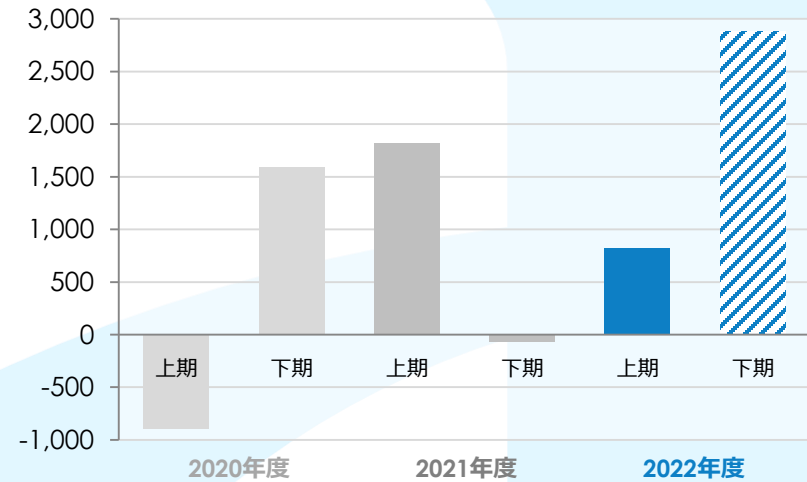
経営予想推移 (連結)

売上高

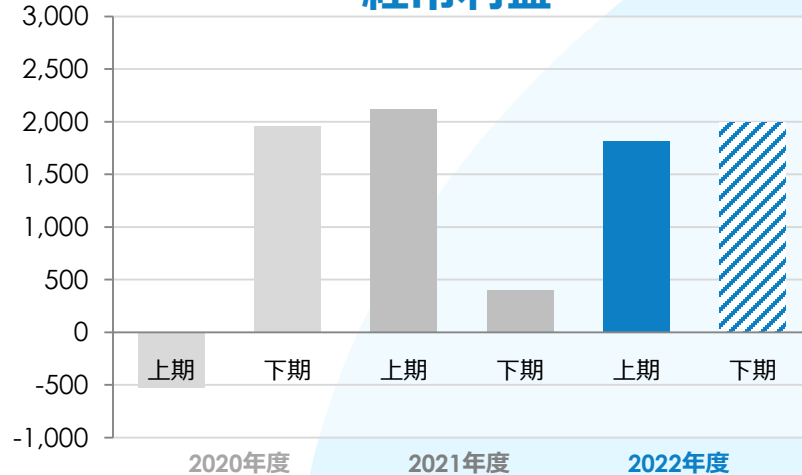


(単位：百万円)

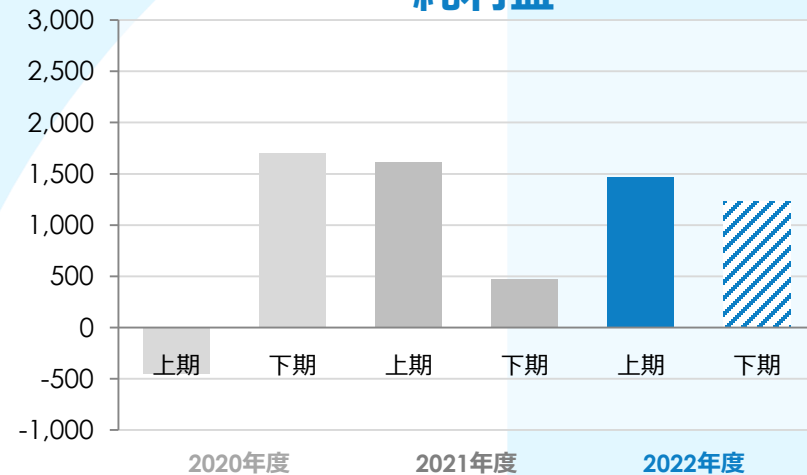
営業利益



経常利益



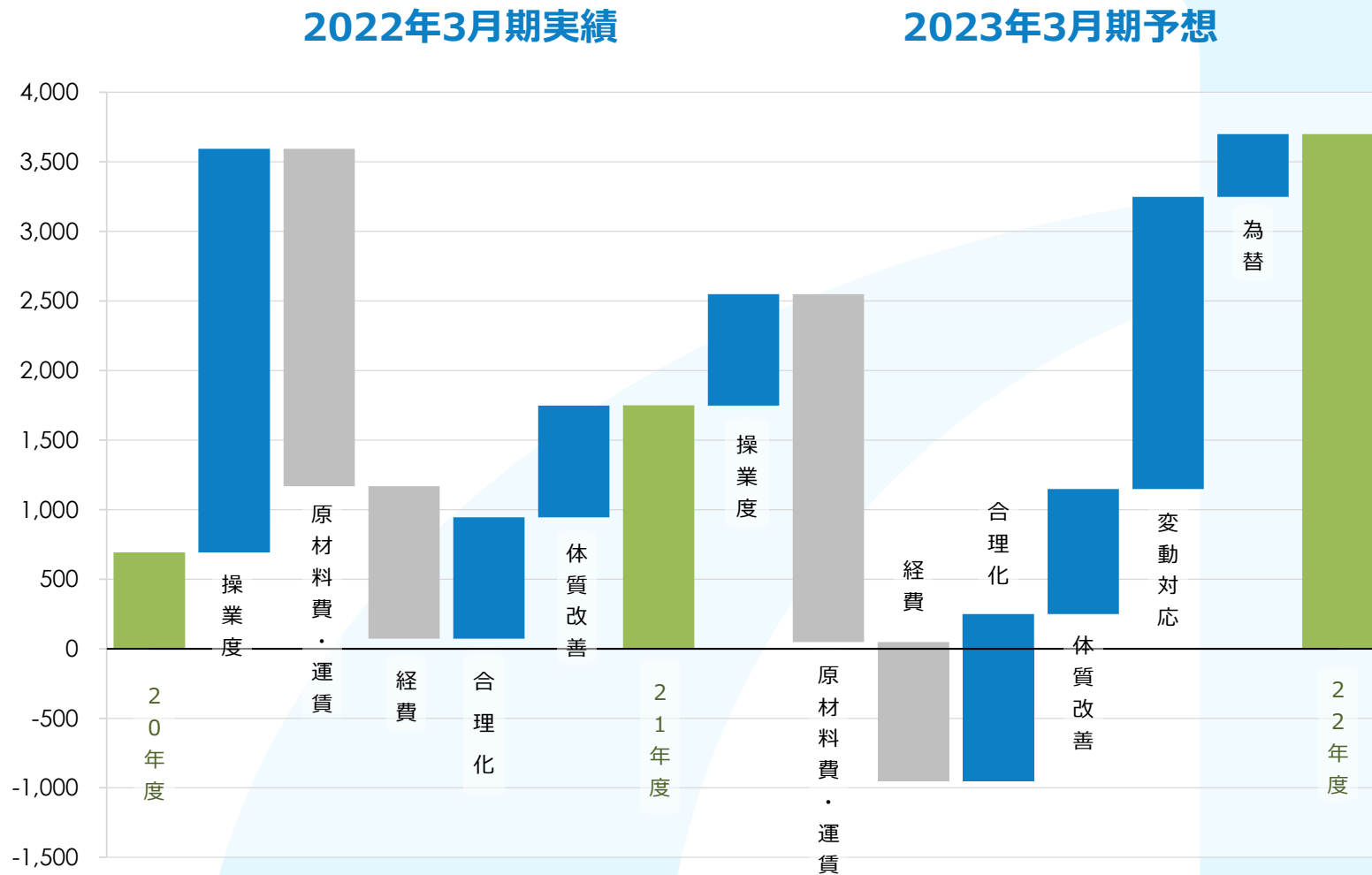
純利益



3. 2023年3月期通期業績予想

差異要因 連結営業利益（前年比）

（単位：百万円）



4. セグメント別・地域別の状況

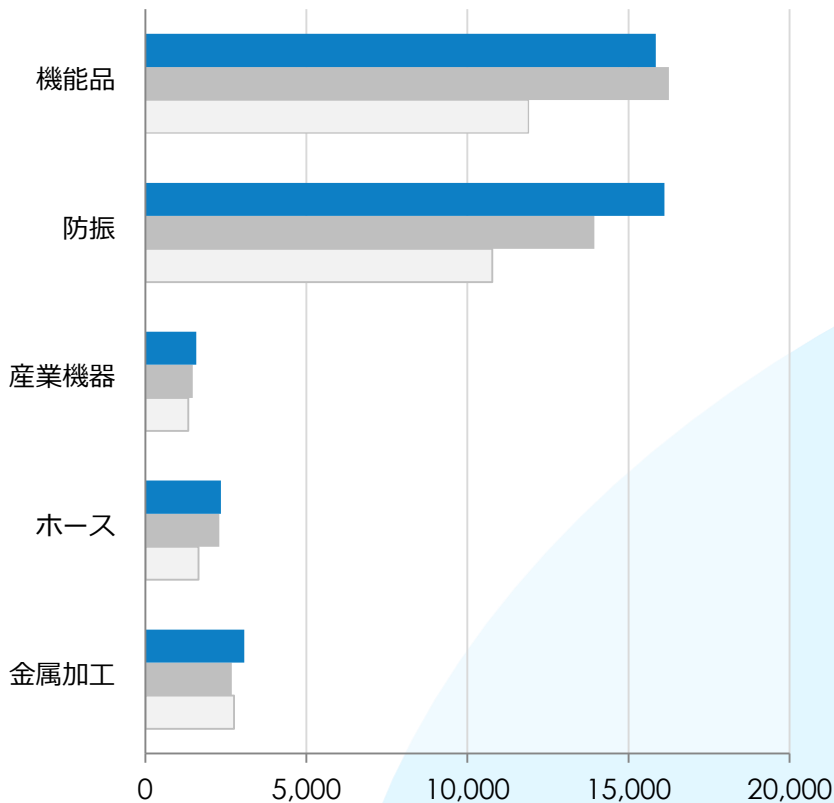


4. セグメント別・地域別の状況

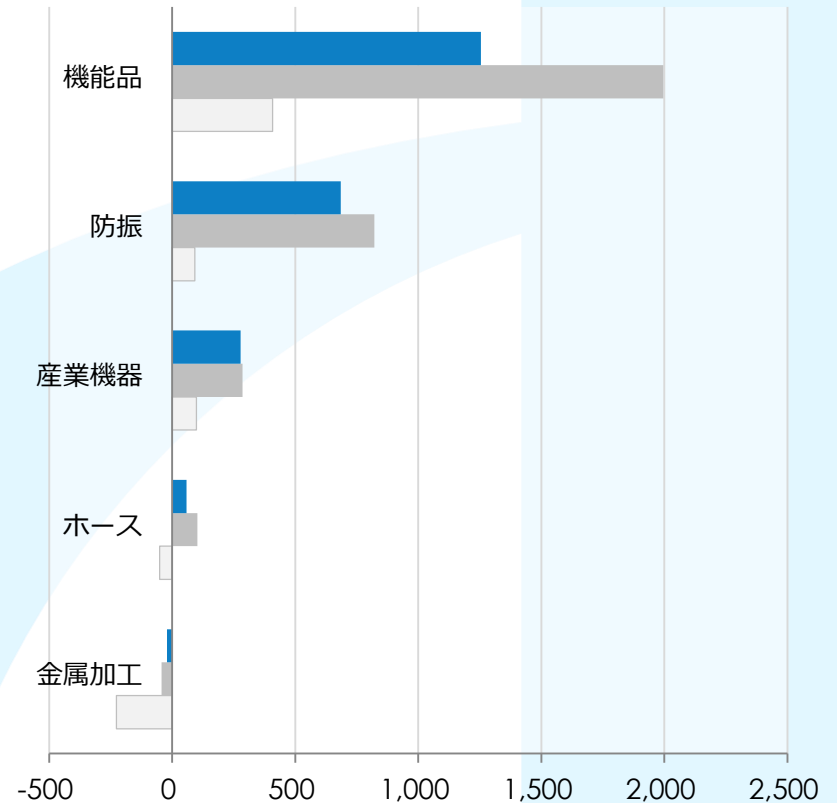
セグメント別（半期）

- 2023年3月期
- 2022年3月期
- 2021年3月期

売上高



営業利益



(単位：百万円)

※ 連結調整考慮前

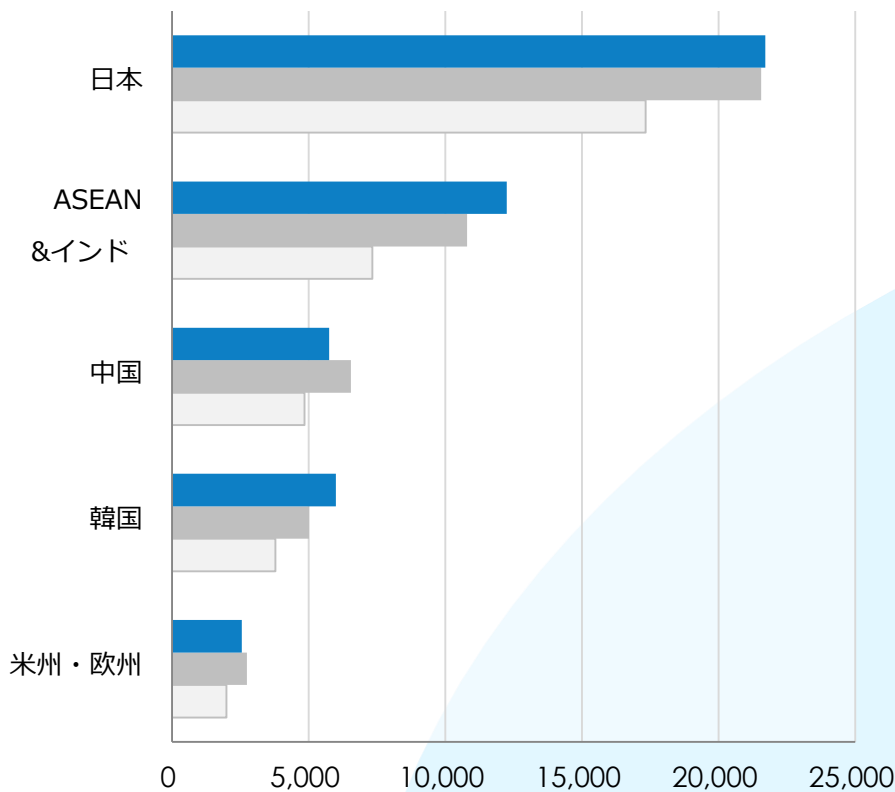
売上げは増加したが、原材料高騰等が営業利益を圧迫

4. セグメント別・地域別の状況

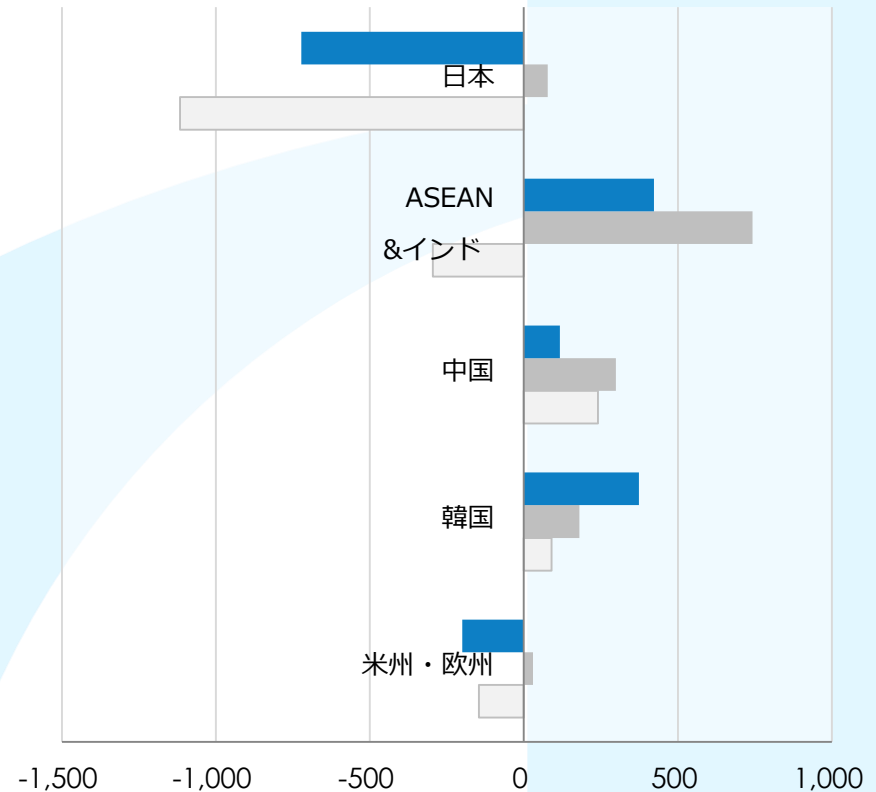
地域別（半期）

- 2023年3月期
- 2022年3月期
- 2021年3月期

売上高



営業利益



(単位：百万円)
※ 連結調整考慮前

原材料の急激な高騰への対応が遅れている

5. 株主還元



5. 株主還元

株主還元の考え方 (配当政策の基本方針)

連結配当性向 **30%**

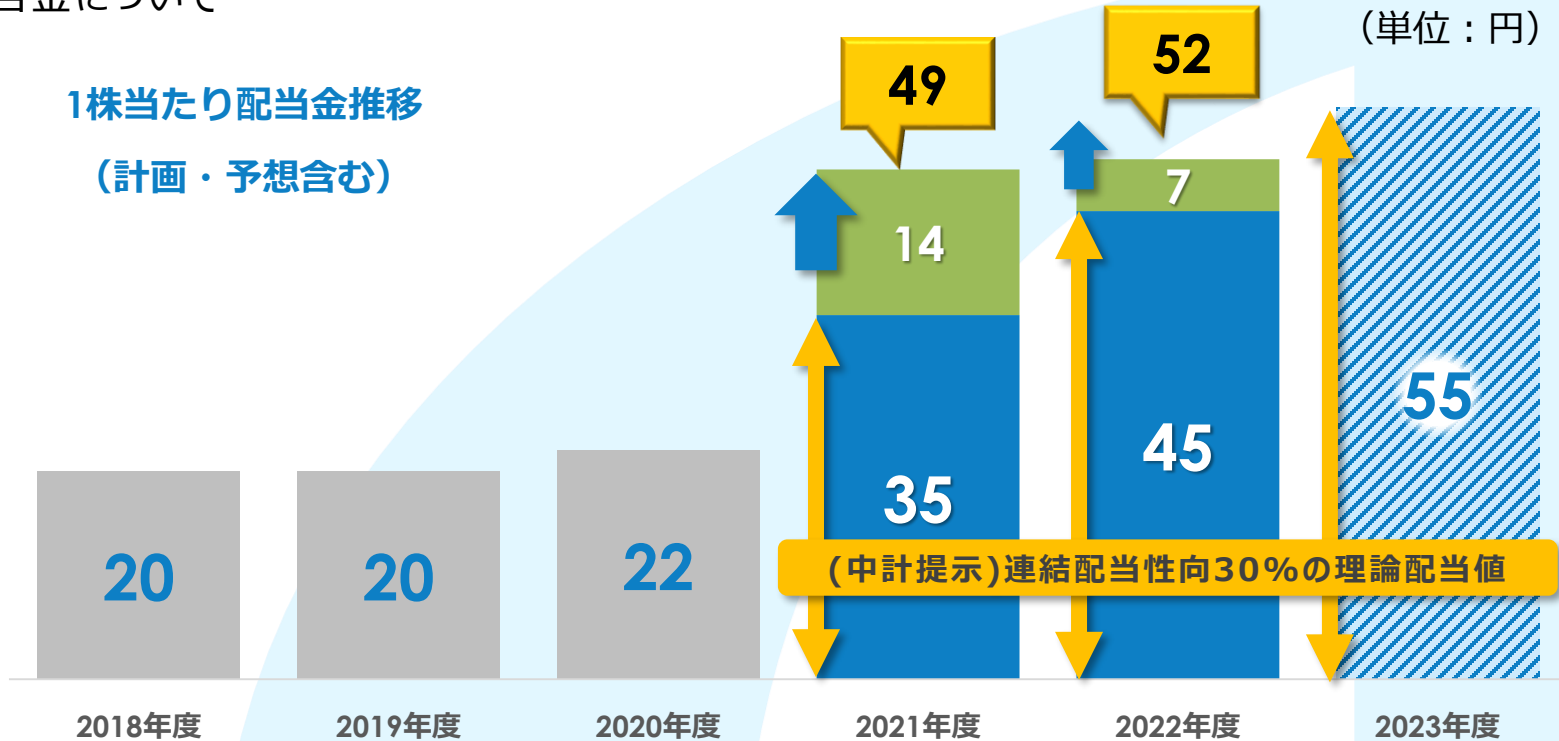
を目安とした安定配当を継続

1株当たり年間20円を下限

※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

配当金について

1株当たり配当金推移
(計画・予想含む)



6. プライム市場上場維持に向けて



6. プライム市場上場維持に向けて

上場維持基準の適合状況

流通株式時価総額 109.4億円
(2022/9/30現在)

項目 (上場維持基準)	流通株式数 (20,000単位以上)	流通株式時価総額 (100億円以上)	流通株式比率 (35%以上)	1日平均売買代金 (20百万円以上)
基準日				
2021/6/30 (移行基準日)	105,134単位	92.9億円 (※2) 883.7円	59.7%	21.8百万円
2021/9/30 (計画書記載)	108,001単位 (※1)	109.7億円 (※2) 1,015.8円	61.3% (※1)	21.8百万円
2022/3/31 (当社年度末)	111,286単位 (※1)	108.4億円 (※2) 974.0円	63.2% (※1)	47.6百万円 (※3)
2022/9/30 (当社上期末)	110,833単位 (※1)	109.4億円 (※2) 986.7円	62.9% (※1)	36.3百万円 (※3)

(※1) 各基準日段階における当社株式名簿より推計

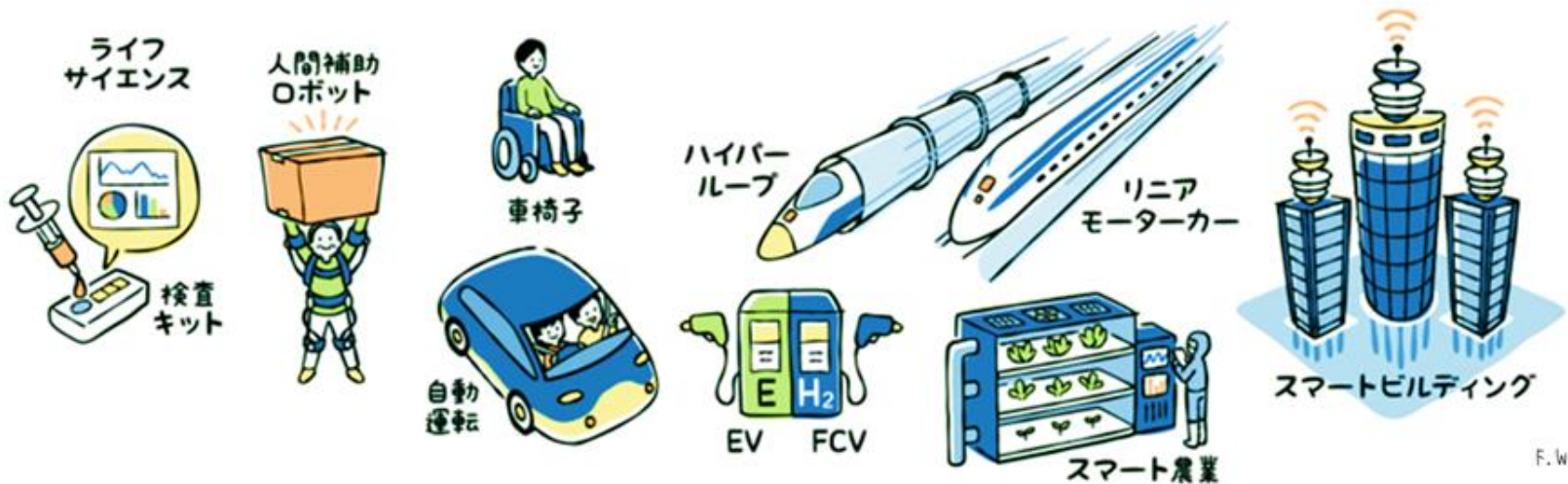
(※2) 各基準日前3ヵ月間の日々の最終株価の平均値

(※3) 1年間の日々の売買代金の平均値

今後も企業価値向上に努め 流通株式時価総額の継続的100億円超を目指す



フコクは“ソフトマテリアル”で“あったらいいな”を実現していきます!



F.w



Φ FUKOKU

ゴムからはじまる 未来がひろがる

株式会社フコクは創業以来の「ものづくり」で培った
設計・試作・評価・量産のノウハウを集結させ
今までに無い価値を提案していきます

注意事項

- ◆ 本資料には、株式会社フコクおよびそのグループ会社の戦略、経営計画等の将来予測に関する記述を含んでいます。本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現時点において入手可能な情報を鑑み株式会社フコクおよびそのグループの仮定および判断に基づくものであり、その性質上、これらにはリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果等と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 本資料に記載されている将来予測に関する記述は、本資料作成日現在時点のものであり、当社はそれ以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

Appendix



1. その他指標

研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)

